

コード No. 28127

**Anti-Mouse  
C-ERC/Mesothelin (308) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 50 µg

はじめに : *Erc* は腎がん発症モデル Rat (Eker Rat)の腎がん細胞において、正常腎臓と比べ高発現している遺伝子として同定されたものです。このヒト Homologue は、MPF (megakaryocyte potentiating factor)や Mesothelin と呼ばれ、特に中皮細胞で発現がみられるタンパク質です。この分子は中皮腫との関わりが示唆されており、腫瘍マーカーとしての意義が予想されます。ヒトにおいてはその他にも膀胱癌、卵巣癌、肺癌などとの関わりが示唆されています。ERC は全長分子量約 71 kDa の GPI アンカー型膜タンパク質として発現しますが、*furin* 様プロテアーゼによって消化されるといわれており、その結果約 N 末側の約 31 kDa と、C 末側約 40 kDa の断片となります。我々は、これらの断片を個々に検索することが ERC 発現解析において有用であると考え、それぞれを N-ERC/ Mesothelin、C-ERC/ Mesothelin としています。本製品は、マウスの C-ERC/Mesothelin を特異的に認識する抗体です。

免疫抗原 : Mouse C-ERC/Mesothelin の部分合成ペプチド  
(KEPYKVEDLIFYQNWELEA)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 0.5 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.5 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 0.3~1 µg/mL (ホルマリン固定、パラフィン切片)にて使用可能  
使用方法 \*pH 6.0 のクエン酸緩衝液を用いたマイクロウェーブ処理では、非特異的な染色が増強されるのでお奨めしません。  
: ウェスタン・ブロッティング約 1 µg/mL にて使用可能